

## 事業部

遊休農地の扱い方針および基盤整備後の運営 【門屋・合戸・比木原】

増えてゆく遊休農地の具体的な方針はあるのか。

農地基盤整備事業の案ができつつあるが、維持管理など運営面の支援をお願いしたい。

### 【 回 答 】

定年を迎える団塊世代に就農を推進し、遊休農地の把握とともに各種情報を提供し、農業の活性化を図る。

事業費の地元負担金については、今までの事業を参考に決定したい。基盤整備の運営面は JA と協力して行っていきたい。また、任意組合などをつくり共同でトラクターなどを購入する場合は、補助制度がある。詳細は農林水産課へ。

行政、市民による海浜植物などの保護展開活動 【塩原新田】

砂丘の侵食対策や「ハマヒルガオ」の保護を実践する活動が市民に確立すれば、支援事業を検討してもらえるか。

### 【 回 答 】

今年、遠州灘沿岸の6市1町により、「遠州灘沿岸保全対策促進期成同盟会」を発足した。侵食対策として国、県に対し海岸保全の要望活動を実施した。また、市民による「ハマヒルガオ」保護活動が確立すれば、支援、協力などができるよう検討したい。

朝比奈地区の活性化にむけて 【上朝比奈・下朝比奈】

浜岡地区と御前崎地区に対する設備投資比率はどうなっているか。

また、朝比奈地区は人口減と高齢化率が高く過疎化が進んでいる。活性化に向け企業誘致や住宅用地造成など地域づくりに配慮願いたい。

### 【 回 答 】

17年度は浜岡地区72%：御前崎地区28%、18年度は予算ベースで69%：31%となっている。人口割が68%：32%であるので均衡のとれた比率ではないか。

昨年度より企業立地室を新設し、市内での就業先を確保すべく企業誘致に積極的に取り組んでいる。また、企業誘致には工業用水が必要不可欠なため、御前崎、牧之原、菊川、掛川の4市で東遠工業用水企業団設立協議会を発足し19年4月の企業団設立に向け進んでいる。

少子化対策と併せ何らかの定住促進対策は必要であると考えている。

「国土利用計画」を 18、19 年度の 2 ヶ年で策定する予定になっているがこの策定にあたっては、市民アンケートをはじめ、地域のご意見を十分反映したものになるよう取り組んでいきたい。

荒廃農地を住宅用地に有効活用し、土地利用について地域での合意形成がされた提言であれば、計画の中に極力反映していき財政状況を勘案し民間活力も視野に入れた中で検討できると考える。

都市計画道路 【 上朝比奈 】

池新田東部線の実線化に向けて今後どう対応していくのか。

【 回 答 】

池新田東部線については、地域要望道路として 15 年に要望書が提出された。掛川浜岡線のバイパス道路とすべく市道認定し、今年度より国庫による「まちづくり交付金」をいただき着手している。

原地区の台地および農業道路の保全 【 朝比奈原 】

農作業道路の保全、補修についてどのように考えるか。

山林保護の問題に伴う費用に行政としての妙案はあるか。

また、大雨には水が沢に流れ込み谷が深くなっているが、沢の保全方法はあるか。

【 回 答 】

市道、農道については、危険箇所が見つければ速やかに補修、改修を実施している。大規模な崩落が発生した場合、市の財源にも限りがあるため国、県の補助が必要となる。建設課で毎月パトロールを実施し、危険箇所の発見に努めている。

抜本的な解決策はないが、今年 4 月から森林<sup>もり</sup>づくり県民税が施行された。この財源をもとに県事業で森の力再生事業が始まった。市の森林整備計画で杉、檜が植林されている状態から 40%程度伐採し、その跡地に広葉樹を植生させ水土保持林とする。この事業を活用することによって、荒廃した森林の整備を進めるとともに、広葉樹の落ち葉などの保水力により、水の流れは幾分か抑えられるのではないかと。沢の保全は県の治山事業による砂防ダムが考えられる。事業を希望される場合は県へ要望していく。

企業誘致 【 朝比奈原 】

広報1月号に「5社の拡張進出」とあるが、業種や創業予定時期、雇用数などを公表してほしい。

【 回 答 】

来年1月頃、創業予定の出光興産(株)は、有機化学工業製品製造業で、新規採用は7名程度の予定である。

B社は、来年4月に着工し、平成23年操業開始予定で、さらに50名程度を随時採用していく予定である。

C社は、来年4月に着工し、平成20年1月頃操業開始予定で、100名程度の新規雇用が見込まれている。

サンホテル跡地、国民宿舎跡地の利用 【 朝比奈原 】

サンホテル跡地、国民宿舎跡地を利用し観光開発に繋がらないか。

【 回 答 】

厳しい観光情勢の中で、サンホテル跡地については、観光開発ゾーンとして位置づけ、土地利用上の課題などを調整しているところである。

現在、観光誘客施設を建設したい民間企業があると聞いている。

御前埼灯台周辺には、遊歩道や展望台があり、このような施設と連携できる国民宿舎跡地は、潮騒公園として整備してある。

要望書の取り扱い 【 新谷区・比木原 】

建設関係の要望書は、年間どの程度出ているか。また実施したものは何件あるか。

地区の役員は、要望に対して地元への説明責任がある。要望書に対して順位付けやいつ頃実施できるかなどの回答がほしい。

【 回 答 】

昨年度の市内全体の要望は225件あり、その内実施済み及び次年度以降実施予定としたものは103件であった。

要望されたものについては、重要性、緊急性、投資効果などを検討し、担当課で現場等の確認調査のうえ、検討協議をして2月はじめに建設委員あてに理由を付して返答している。

町内会で検討をし、優先順位をつけて建設課へ提出していただければありがたい。一

地区に集中しないよう地区バランスを考慮し、予算化していきたい。

**ガケ崩れ対策 【 新谷区 】**

現在居住している場所は、危険区域に指定されている。

近所では引っ越していく家もある。家を建替えたいが思うようにならず、取り残されていく気がする。

**【 回 答 】**

危険箇所の解消がされない限り、建築基準法、県のガケ条例に抵触し建築確認がされない。救済事業としては、「急傾斜地対策事業」「ガケ地近接危険住宅移転事業」などがある。

「急傾斜地対策事業」は、ガケ地を擁壁等で保護し土砂災害の被害を最小限に食い止めるためのものである。事業費の5%は個人負担となる。(問合せ先・・・建設課)

「ガケ地近接危険住宅移転事業」は、ガケに接して建っている住宅を安全な場所に移転する費用に対して補助を行う制度である。(問合せ先・・・都市計画課)

いずれの事業も制約などがあるため、各関係課へ問い合わせしてほしい。

**遊歩道展望台 【 上岬区 】**

灯台から国民宿舎跡地までの遊歩道展望台は、バリケードがしてあり立入禁止となっている。このままではイメージダウンにつながる。取り壊すのか、補修するのか。

**【 回 答 】**

専門業者による調査を実施し補修設計に入っている。8月中旬には補修工事として発注する計画でいる。

**自然エネルギーの活用 【 大山区・西側区 】**

今年3月頃から回っていない風力発電は、いつ復旧するのか。

**【 回 答 】**

風力発電施設の故障については、今年1月の落雷により停止をしている。風力発電フィールドテスト(発電に関する風量・発電量・気象状況などを調べること)調査期間中の事故であり、すべてを市の負担で取替工事を行うことはできないためメーカー側との費用負担、保険対象の調査などを実施したため長期間停止していたが、保険対応できることになった。秋復旧予定。

緑茶生産農家の効率低下 【比木原・新野東】

緑茶生産農家の現状は、近年特に大変な状況だと聞いている。少子高齢化で次代を担う若者が夢をもてなくなっている。基盤整備や補助事業などで資金をなるべく使わない打開策はないか。

【回答】

たしかに、新規就農者が少なく従業者の高齢化により地域農業も変革の必要性が叫ばれている。市の農業生産額第1位であるお茶の産地を守るためにも、経営面積の拡大と乗用摘採機の導入を図り労力軽減を図る必要がある。茶業振興協議会において県奨励品種などの8品種から「つゆひかり」を選び、市内で1.3ヘクタール定植し19年度には「御前崎つゆひかり」のブランド名で消費者に提供していく。農協で「農地保有合理化事業」、市で「農地利用集積事業」を行っているが、担い手へ農地が集積できるよう貸借期間に応じ奨励金を出すなど支援をしている。

都市計画の見直し 【上比木】

都市計画事業で区域内の整備は進むが区域外はますますとり残される。これからは御前崎港、静岡空港の開港をにらんだ企業進出を見込んで工業団地の造成をしたらどうか。遊休地の土地利用、地域開発、雇用促進、財政収益に繋がるだろう。都市計画整備はそれができてからでも遅くはない。

【回答】

昭和56年1月の都市計画決定以来、街路整備を主に現在約50%が完成した。しかし、今後厳しい財政状況が予想されるため、今年度から事業費の4割を交付金とした「まちづくり交付金事業」に取り組む。平成22年までの5年間で成果をあげる。企業誘致は、企業立地室を中心に進めていく。

箴川の護岸、河川道路の改善 【上比木】

海戸橋下流の川底が、大雨の時土砂が流され護岸工事がされてないところが危ない。堰を設けるなどの対策をお願いしたい。山田橋から念仏橋にかけての河川道路が舗装されていない。水が溜まり危険である。

【回答】

箴川は二級河川であり県の管理下であるため、市が施工することはできない。町内会の建設委員を通して、「土木事業等地区要望書」を建設課へ提出していただければ県に対して改めて要望する。

遠州灘海岸の浸食問題 【 西側区 】

天竜川の流出土砂の減少に伴う遠州灘海岸の浸食については、国、県でも問題となり総合土砂管理対策が検討されつつある。原発道路沿いの海岸でも浸食を受けている。災害面や自然生態系の保護からも砂浜の保全や回復に取り組んでほしい。

【 回 答 】

今年2月、湖西市から御前崎市までの6市1町により「遠州灘沿岸保全対策促進期成同盟会」を発足し、「海岸への養浜」「海岸の防護機能対策」「天竜川からの土砂供給回復に向けた総合的な土砂管理対策の推進」「海岸林の保全対策」などについて、5月に国および県に対し保全対策の要望をした。

自然公園の造成 【 新野東 】

大井川用水篠ヶ谷調整池の築造に伴う自然公園の造成はどんな計画か。

【 回 答 】

現在池築造に伴う仮設工事を実施中であり、今年度と来年度にかけて工事を行い、平成20年3月に貯水量7万トンの調整池が完成予定である。

また、調整池周辺整備は、市による事業でゲンジボタルの生育する環境に配慮した自然公園を計画している。約1ヘクタールの用地の取得を予定しており、来年度に工事を実施し、平成21年3月完成予定。

企業立地構想 【 新野南 】

佐栗谷バイパスの開通により静かな環境になった反面、活気がなくなった。活力ある地区にするために企業誘致を望む。

【 回 答 】

昨年度から企業立地室を設置し、地元企業の育成や雇用の拡大を含めながら企業誘致事業を進めている。企業から求められている土地利用の要件、開発の可能性、造成価格などの根拠となる資料づくりのため、新野、朝比奈、比木、佐倉地区において調査を実施した。現在は、地元企業の増設計画がある池新田工業団地の未整備地の方向性を見極めながら、委員会や議会、地元の意見を聞いたうえで新たな工業団地を検討していきたい。

農業振興対策 【 新神子区 】

白羽地区は砂地の畑が多く、排水路が砂に埋まっては掘り返し、排水に苦労している。農業をより振興するため、排水対策について計画的に整備していただきたい。

【 回 答 】

白羽地区に限らず、浜岡地区の海岸地帯についても苦慮している。最大の原因は排水を受け入れる下流水路との高低差の無さによる地形的なものである。

農地の荒廃地周辺については管理が行き届かなく、水路内への土砂の堆積、雑草の繁茂も排水不良の原因である。

昨年度と本年度で道路脇に排水対策工事を実施し9月から工事に着手する予定である。畑内の暗渠排水の工事なども補助事業の対象になる。

松くい虫防除 【 新神子区 】

松くい虫が目立つ。海岸の松は大事である。空中散布だけでなく食い止めてほしい。

【 回 答 】

松くい虫については、遠州灘一帯の問題となっている。空中散布で飛散が広範囲に及ぶため、地上散布などに切り替えている。

天気の問題、乾燥などで被害が大きくなる。県に対して回数を増やしてもらうなど要望している。

西部市長会（御前崎市から湖西市）でも問題になっており、松くい虫については、一斉に立ち上がろうと検討している。県とも協議しながら対策を考えていく。

市民の森 【 東 町 】

松くい虫の被害で全滅しつつある150号線南側の防風林を手植し大きな森に育てたらどうか。

【 回 答 】

来年度から5ヶ年間の「松くい虫被害対策地区実施計画」を策定するため、町内会・財産区・防災林保護組合・保全林管理組合等の代表者と「被害対策検討委員会」を開催し協議を行っている。災害から郷土を守るためには、最も南側の松林が重要であるため、「高度公益機能森林」として重点的に力を入れていきたい。松くい虫被害の箇所については「被害拡大防止森林」と位置づけ、この地域の環境にあった広葉樹による樹種転換を図っていく。